

若者チャレンジ応援事業

1,000 万円程度

社会的自立に対して、悩みや困難を抱えている若者やその家族・支援者等を対象に、経験者等による体験談を踏まえた講演の実施や相談コーナーの設置を行うイベントを開催し、社会的自立に向けての一步を後押し

若者の社会的自立を
後押しするイベントを実施



新たな一步が
踏み出せた！



事業内容の詳細

○ 悩みや困難を抱えている若者の社会的自立を後押し

- ・ 様々な問題を抱えて社会的自立に踏み出せない若者に対して、自立に向けた一歩を踏み出せるよう後押しするためには、**行政や支援機関による支援が必要**
- ・ **過去に困難を抱えた経験のある人や支援者による体験談を踏まえた講演や、幅広い支援機関が集まった相談ブースの出展**を内容としたイベントを実施
- ・ イベントの対象者には、社会的自立に対して悩みや困難を抱えている若者本人だけでなく、若者の家族や支援者等も含める

事業実施による効果

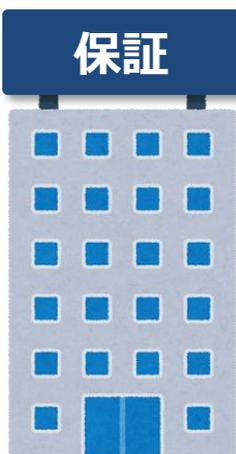
- イベントの開催を通じて、若者の社会的自立に向けての支援を行うことにより、**困難を抱える若者の人生の可能性を広げる一助**へと繋がることが期待

養育費確保支援事業

700 万円程度

ひとり親世帯が元配偶者等からの**養育費が不払い**になった場合に備え、区市町村が民間保証会社と連携し、ひとり親世帯への**養育費の立替保証**を実施する際に、ひとり親世帯が支払う**保証料を補助**する制度を創設

ひとり親世帯に 養育費確保の支援



安心して
子育てできる



事業内容の詳細

○ ひとり親世帯の養育費の安定した取得に向けた支援

- ・ ひとり親世帯の貧困率は5割を超えており、賃金以外の収入源である養育費の受給率は約2割と低水準となっている
- ・ **区市町村が民間保証会社と連携し、ひとり親世帯が民間保証会社と養育費立替保証契約を結ぶ際に負担する保証料の一部を補助する制度を創設**
- ・ 養育費の取り決め率や支払い率等の向上に向けて、支援制度の**普及啓発も支援**

事業実施による効果

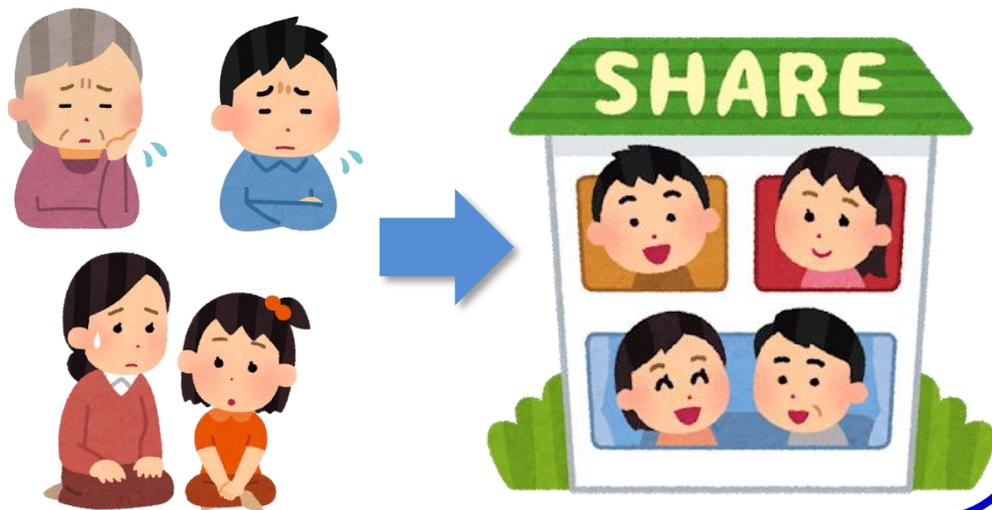
- **養育費の安定した取得による生活の安定**や、養育費の受け取りについて第三者が間に入ることにより、**支払義務者の未払い抑制**への繋がりが期待

シェア居住事業

700万円程度

都営住宅等の空き住戸をシェア居住向けに整備し、住宅に困窮している高齢者、若年層やひとり親世帯、学生などを受け入れることで、**単身世帯等が安心して暮らせる場の創出**とともに、**団地や地域の活性化**を図る

高齢者、若年層、ひとり親世帯、学生など



安心して暮らせる♪



事業内容の詳細

○ 都営住宅等の空き住戸をシェア居住向けに整備

- ・ 東京都の単身世帯数の増加や雇用環境などを背景にした**住宅困窮者**に対する**支援**が課題
- ・ **都営住宅等の空き住戸**をシェア居住向けに整備し、増加する単身高齢者や生活が困窮している若年層、ひとり親世帯、学生等を受け入れ、**生活の場を創出**
- ・ 具体的には、家族向けの住戸をシェア居住向けに改修するとともに、**備品などを配備**することで共同生活に向けた環境を構築

事業実施による効果

- 住宅に困窮する単身世帯等に対して、**安心して暮らすことができる環境が実現し**、多様な人々が居住することで、**団地や地域の活性化**へと繋がることが期待

使い捨てプラスチック製品を代替する 持続可能なバイオマス資源普及啓発事業

500 万円程度

プラスチックに起因する海ごみやCO₂排出の問題等の解決に向け、**プラスチック代替製品**である紙や木材などのバイオマス資源の適切な使用について、**シンポジウムの開催**を通じて普及啓発

環境問題



都民向けシンポジウムの開催



環境問題の
解決に寄与♪



事業内容の詳細

○ 都民向けバイオマス資源シンポジウムの開催

- ・ プラスチックに起因する海ごみやCO2排出が大きな環境問題となっており、問題解決のためには、日頃からの一人ひとりの行動が大切
- ・ 使い捨てプラスチックや、それに代替する資源として期待されている**バイオマス資源**の現状や課題を分かりやすい内容として**講演**や**パネルディスカッション**の実施

事業実施による効果

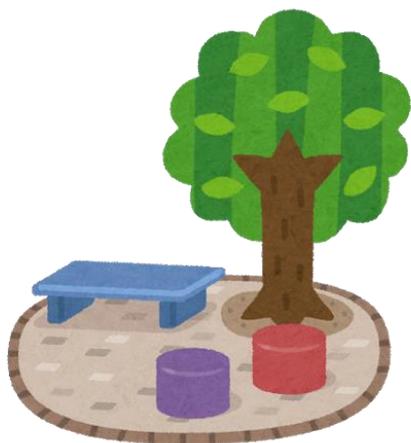
- 使い捨てプラスチック製品の代替利用について、機運醸成につながり、**環境問題の解決**へ寄与

保育所等における 園外活動支援事業

1,200 万円程度

保育所等に通う子供たちの園外活動の更なる充実や、地域を超えた子供たちとの交流機会の創出を図るため、バス等の送迎により豊かな自然の中での外遊びの機会を提供

保育所等の 園外活動の支援



子供たちが多様な経験を
することができる！



事業内容の詳細

○ 保育所等に通う子供たちの園外活動充実を区市町村を通じて支援

- ・ 保育所等が借り上げたバスを活用し、**豊かな自然の中での外遊びの機会**(園外活動)を提供する取組を支援
- ・ 園外活動を通じた施設間交流も実施することで、子供たちのより大きな集団での活動や多くの人々との交流の機会に加え、**保育者同士の交流機会の創出**を図る

事業実施による効果

- 園外活動や施設間の交流を通じて、子供たちが多様な経験や、多くの人々との交流の機会を得ることができ、保育者同士も交流することで**更なる保育内容の充実及び保育の質の向上**への繋がりが期待

防災備蓄に向けた Webサイトの構築

4,100 万円程度

いつ起こるか分からない首都直下地震や水害等の大規模災害に備えるための**家庭内防災備蓄の促進**に向け、簡単な質問に回答するだけで**住居の状況や家族構成等**に応じた、**備蓄リストを分かりやすく提案するWebサイトを構築**

住居の状況や家族構成等に応じた
備蓄品リストの提示



もしもの時に
備えよう！



事業内容の詳細

○ 家庭内における防災備蓄を促進するWebサイトを構築

- ・ 大規模災害時にライフラインや物流が一定期間機能しなくなった場合等に対しては日頃からの備えが重要だが、一軒家やマンションといった住まいの状況や、子ども・高齢者の有無といった家族構成により備蓄しておくべき物品には差がある
- ・ 各世帯ごとの状況に応じて、どのような備蓄が必要なのか、有識者を含む検討会で検討するとともに、Web上で質問に答えていくと、**必要な備蓄品が案内されるWebサイトを構築**

事業実施による効果

- 各家庭に最適な備蓄リストがWebから簡単に入手でき、**防災意識の向上や防災普及の促進**へ繋がることが期待

男性の育児と仕事の両立推進事業

2,400 万円程度

男性の育児参加に関する理解を深め、企業における推進を図るため、男性の育児参加に積極的に取り組んでいる企業を表彰するとともに、育児参加に関する企業の先進的な事例等を紹介するイベントを開催

男性の育児参加に対する企業の
意識向上のための施策を実施

企業を表彰



普及啓発イベント



講演



先進事例の紹介

育児と仕事が
両立できる♪



事業内容の詳細

○ 男性の育児参加を推進する企業の表彰

- ・ 東京ライフ・ワーク・バランス認定企業のうち、男性の育児と仕事の両立に関し、**特に優れた取組を実施した企業を表彰**

○ 普及啓発イベントの開催

- ・ ライフ・ワーク・バランスの総合展である東京ライフ・ワーク・バランスEXPOと共催で、男性の育児参加に関する**講演や先進企業の取組事例等を紹介するイベントを開催し、情報を広く発信**することで、企業の取組意識の向上を図る

事業実施による効果

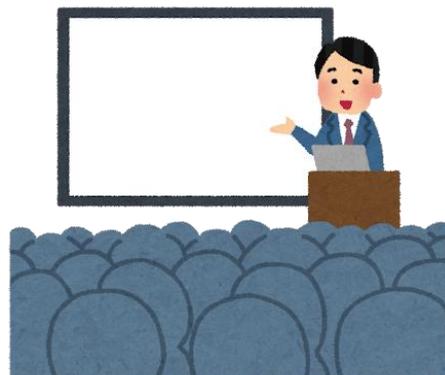
- 男性の育児参加に関する理解を深めることにより、**育児と仕事の両立**へと繋がることが期待

「認知症の人とその家族に 優しい街東京」へ向けての学修会

1,300万円程度

認知症高齢者との共生の実現に向けて、人格形成の重要な時期を迎えている学生に対し、認知症を正しく理解し、身近な問題として実感してもらうために、
認知症に関する学修会を実施

認知症に関する 学修会の実施



認知症について
正しく理解！



事業内容の詳細

○ 学生に対し、認知症に関する学修会を実施

- ・ 認知症高齢者は年々増加しており、地域の中で認知症の人や家族を見守り、支援していく必要があるが、認知症に対しては誤解や偏見も多く、若者にとっては認知症を正確に理解することは現状では難しい
- ・ 人格形成の重要な時期を迎えている学生に対し、認知症を身近な問題として意識するきっかけとしてもらうため、**理解促進のための映画等の鑑賞や、医学的見地からの講演、法律・社会保障制度の見地からの講演など学修会を実施**

事業実施による効果

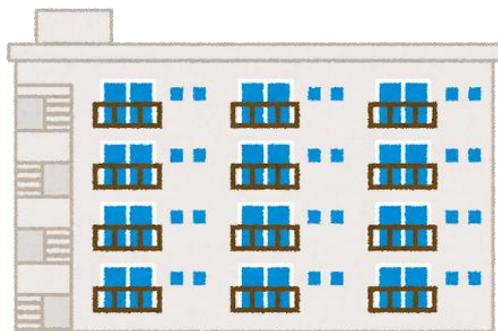
- 人格形成の重要な時期に、認知症について学ぶことで、認知症を正しく理解し、将来における「**認知症高齢者との共生**」の**実現**へ繋がることが期待

都営住宅の集会所等を活用した 「おとな食堂（仮称）」の展開

3,200万円程度

地域コミュニティの活性化を図り、都営住宅の高齢・単身世帯が安心して暮らすことができる環境を整備するため、都営住宅や周辺地域に住んでいる高齢者等に定期的に食事を提供する場を設置

集会所等を活用し高齢者など
皆で食事がとれる環境を整備



地域の繋がりが
生まれて安心！



事業内容の詳細

○ 都営住宅の施設を活用し、高齢者等への食事提供サービスの場を設置

- ・ 都営住宅では名義人の約7割が65歳以上世帯であり、単身世帯も多く、今後も高齢化・単身化が見込まれる
- ・ 住民同士や多様な主体との繋がりにより、地域からの孤立を防止することが大切であり、居場所づくりを行っていく必要がある
- ・ **都営住宅の集会所等を有効活用し、他の自治体やNPO、民間事業者等と連携し、都営住宅や周辺地域に住んでいる高齢者等に食事を提供する場を設置**

事業実施による効果

- **コミュニティの活性化**や高齢・単身世帯に対して緩やかな見守りが実現し、**安心して暮らすことができる環境の整備**に繋がることが期待